

貧困・困窮者に対するワンストップサービスについて

1 実施日等

(1) 日時

平成 21 年 11 月 30 日 (月) 9:00 ~ 17:00

平成 21 年 12 月 16 日 (水) 9:00 ~ 16:00

(2) 場所

キャリアアップハローワーク北海道(中央区北4条西5丁目 三井生命札幌共同ビル9階)

(3) 実施機関

北海道労働局、北海道、札幌市、石狩市、江別市、北広島市、(社)北海道社会福祉協議会、(社)札幌市社会福祉協議会、札幌弁護士会

(4) 相談内容

しごとの相談【北海道労働局・ハローワークが担当】 3名

すまいの相談【ハローワーク、本市(雇用推進課)が担当】 2名

くらしの相談【本市(保護指導課) 社会福祉協議会が担当】 4名

その他【本市(精神保健福祉センター) 札幌弁護士会などが担当】 6名

15名体制

(5) 実施結果

		11月30日		12月16日		
		全体	本市	全体	本市	
利用者数		103	92	31	28	
性別	男	83	72	26	24	
	女	20	20	5	4	
離職事由	事業主都合	39	33			
	自己都合・期間満了	64	59			
相談内容	延べ件数		165	152	72	64
	内訳	ハローワーク	58	52	17	15
		労働相談等	1	1		
		住宅手当	9	7	17	15
		生活福祉資金	30	29		
		つなぎ資金	0	0	33	29
		生活保護	40	37		
		多重債務相談等	13	13	2	2
心の健康相談	14	13	3	3		

なお 12/16 分は速報値であり、変更となる可能性があります。

2 年末に向けた本市の支援策について(案)

(1) 日時

平成 21 年 12 月 29 日 (火) ~ 30 日 (水)

(2) 場所

キャリアアップハローワーク北海道

(3) 相談内容

就労相談等

生活保護及び住宅手当の相談

市営住宅に関する相談

その他

ハローワーク

保護指導課

住宅管理担当課

ワンストップ・サービス・デイ来所者アンケート集計結果

平成 21 年 12 月
北海道労働局

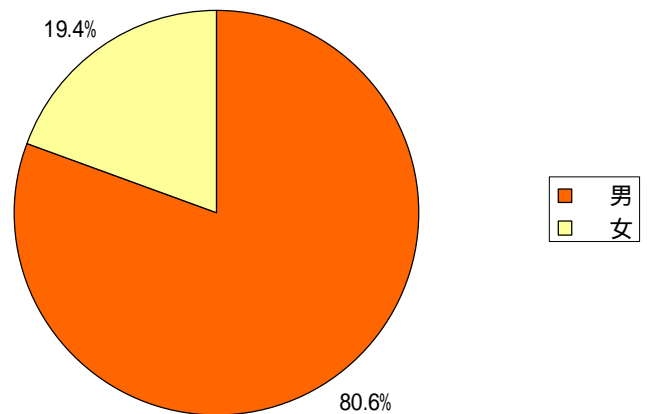
平成 21 年 11 月 30 日にキャリアアップハローワーク北海道において試行実施した「ワンストップ・サービス・デイ」来所された方々に対しアンケート調査を行い 103 人中 95 人から回答があったものを下記のとおりまとめた。

A．性別

男	83
女	20

訪れた方の 8 割は男性が占めた。

1

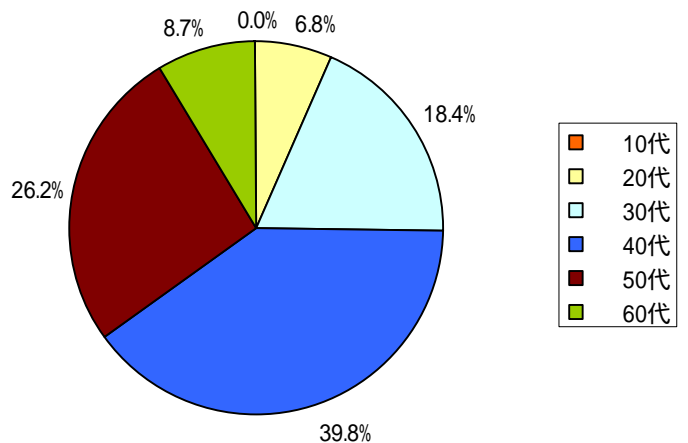


B．年代別の状況

10代	0
20代	7
30代	19
40代	41
50代	27
60代	9

40代、50代の方が全体の66%を占めている。特に40代の働き盛りの方が、40%近くを占めている。

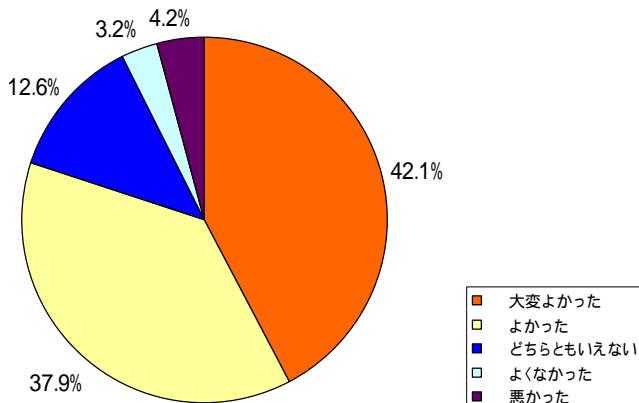
2



1. 今回の「ワンストップ・サービス・デイ」はいかがでしたか。

大変よかった	40
よかった	36
どちらともいえない	12
よくなかった	3
悪かった	4

1



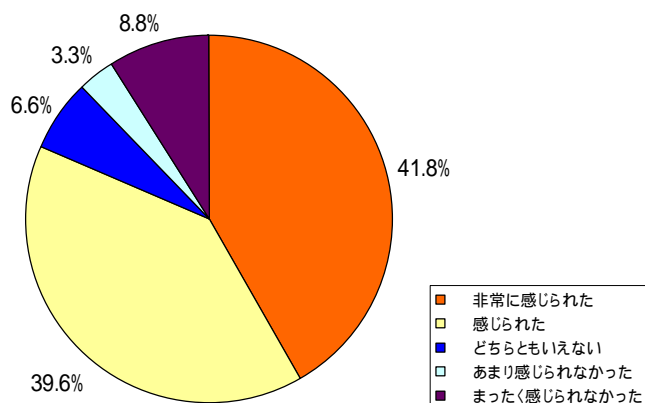
ワンストップ・サービス・デイの利用について「大変よかった」と「よかった」を合わせると80%となっている。

- ・ いろいろと個別に相談して頂き、自分の今の状況を再確認することができた。
- ・ 1ヵ所で集中的に様々な活用できるサービスの相談ができるのでとても楽だ。
- ・ あちらこちらにたらい回しにされなくて良かった。
- ・ いろいろな情報が収集できて良かった。
- ・ 親切丁寧に相談して頂いたが、申請ができないのはどうかと思った。
- ・ 無料で各種相談を利用できるのが大変良かった。
- ・ 各種貸付や給付の制度の違いや担当窓口がそれぞれ違うことを知り、大変参考になった。

2. 1ヵ所で仕事・住まい・生活の相談を行うワンストップ・サービスならではのメリットを感じられましたか。

非常に感じられた	38
感じられた	36
どちらともいえない	6
あまり感じられなかった	3
まったく感じられなかった	8

2



開催のメリットについては「非常に感じられた」「感じられた」を合わせると81%となっている。

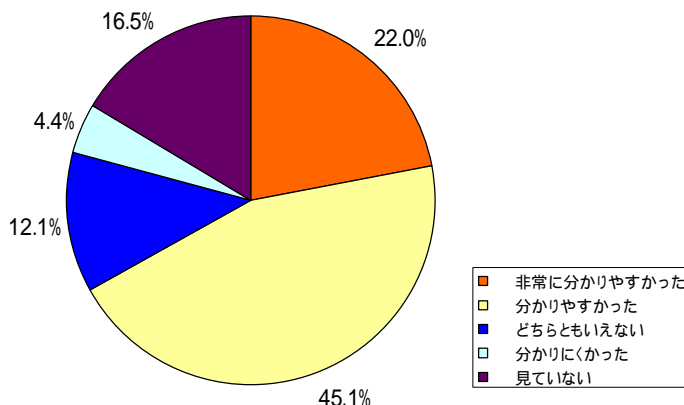
- ・ 短時間で必要な複数の相談ができたので、非常に便利だと思った。
- ・ スムーズな案内により、職業紹介だけではなく、住まいや生活の相談、心のケアまでも含めて一ヵ所で相談することができて良かった。
- ・ 複数の相談を行うには時間がかかるので、5時までではなく、7時までにしてほしい。
- ・ 相談をしていただけるのは良いが、申請については区役所で手続きを取らなければならないのは不便。
- ・ ここですべての手続きについて申請受理までできると良い。

3. 「新しいセーフティネット 支援ガイド」をご覧になったの感想はいかがですか。

非常に分かりやすかった	20
分かりやすかった	41
どちらともいえない	11
分かりにくかった	4
見ていない	15

3

厚生労働省で作成した「支援ガイド」について「非常に分かりやすかった」と「分かりやすかった」を合わせると67%となった。



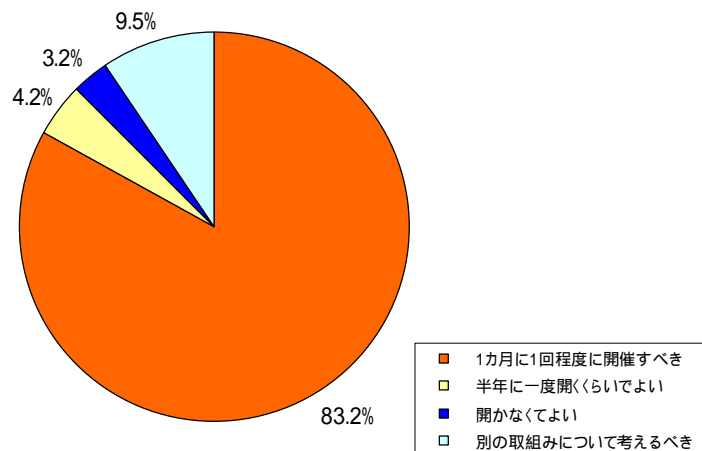
- それぞれの項目が分かりやすく記載されて良い。
- チャート式でわかりやすい。
- 見やすい、わかりやすい。

4. 「ワンストップ・サービス・デイ」のような取組を今後も続けるべきと思いますか。

1カ月に1回程度に開催すべき	79
半年に一度開くくらいでよい	4
開かなくてよい	3
別の取組みについて考えるべき	9

4

「1カ月に1回程度に開催すべき」が全体の83%となっている。



- この取組は今後もぜひ続けるべきだと思う。
- 恒久的に行うのが良いというか必要だと思う。
- 各ハローワークでもやってほしい。
- 毎月開いてほしい。

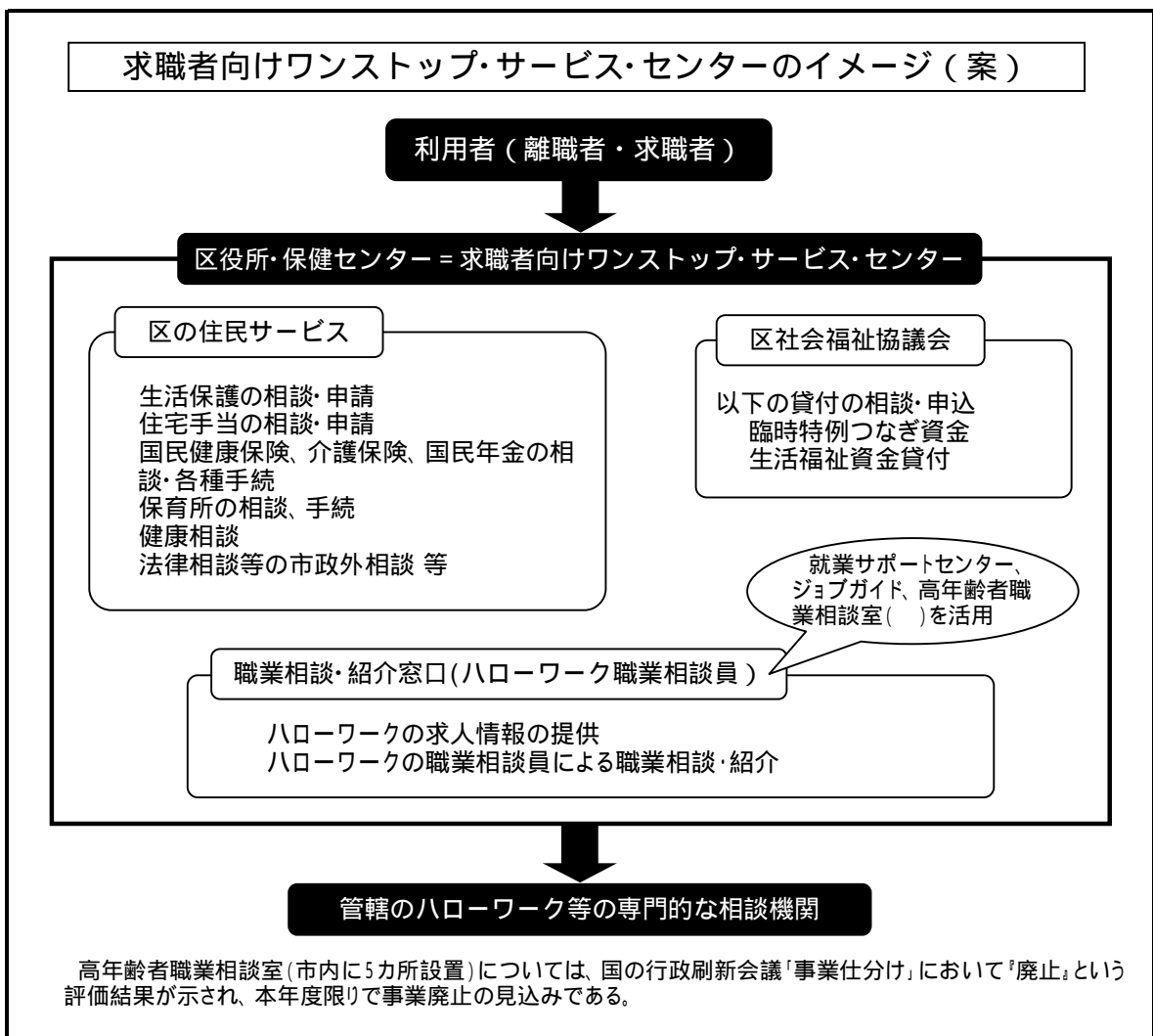
5. その他、改善点や要望などご意見がございましたらお書きください。

- できれば各ハローワークで、このサービスを受けることができればもっと良いと思う（場所によっては交通費が高つくから）
- 相談できずに悩んでいたのが本当に助かりました。今後もワンストップサービスデイの取組を続けてほしいと思う。

区役所を活用した 「(仮称)求職者向けワンストップ・サービス事業」の実施について

1 事業の目的

国の緊急雇用対策の一つである「ワンストップ・サービス」を継続的に実施する体制を整備するため、区役所を『(仮称)求職者向けワンストップ・サービス・センター』と位置付け、職業相談・職業紹介と区役所の生活相談、健康相談等の住民サービスが密接に連携した実効性の高い支援を実施する。



2 事業実施に向けた本市の動き

平成 22 年度からの実施に向け、センターの中核を担う職業相談・職業紹介窓口へのハローワーク職業相談員の配置、求人情報の提供について、北海道労働局を通じて厚生労働大臣に緊急要請を行った。また、民主党北海道に対しても、党の陳情項目に盛り込むよう働きかけを行った。

市内の職業相談窓口

(平成21年12月1日現在)

手稲区高齢者職業相談室
【手稲区役所内】
月～金 8:45～12:00
13:00～17:00

- 平成元年11月開設
- HW職業相談員3人配置
- 求人検索機3台設置
- 平成20年度利用者:10,675人

札幌市就業サポートセンター
(併・北区高齢者職業相談室)
【北区北24西5 札幌サンプラザ1階】
月～金 8:45～17:00

- 平成16年10月開設
- 官民共同窓口
- ・ハローワークプラザ北24
- ・キャリアバンク(株)
- ・(株)東京リーガルマインド
- 求人検索機14台設置 (HW8台、札幌市6台)
- 各種再就職支援事業 (女性、中高年、離職者向け)
- 仕事の悩み相談室
- 社会保険労務士の相談
- 平成20年度利用者:43,585人

札幌北公共職業安定所
【東区北16東4】

西区地域職業相談室
(ジョブガイド西)
【西区役所内】
月～金 8:45～17:00

- 平成17年8月開設
- HW職業相談員3人配置
- 求人検索機5台設置
- 社会保険労務士による相談
- 平成20年度利用者:23,558人

ハローワークプラザ札幌
ヤングハローワーク札幌
マザーズハローワーク札幌
札幌人材銀行
キャリアアップハローワーク札幌
【中央区北4西5 三井生命札幌共同ビル】

白石区高齢者職業相談室
【白石区役所内】
月～金 8:45～12:00
13:00～17:00

- 昭和55年7月開設
- HW職業相談員2人配置
- 平成20年度利用者:6,506人

札幌東公共職業安定所
【豊平区月寒東1-3】

札幌公共職業安定所
【中央区南10西14】

南区雇用情報コーナー
【南区役所内】
火・金 8:45～12:00
13:00～17:00

- 平成18年4月開設 (高齢者職業相談室から移行)
- 市職業相談員1人配置
- HWの求人情報等の提供 (職業紹介は実施していない)
- 平成20年度利用者:453人

豊平区高齢者職業相談室
【豊平区役所内】
月～金 8:45～12:00
13:00～17:00

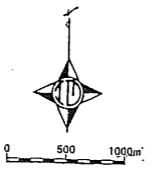
- 昭和49年7月開設
- HW職業相談員2人配置
- 平成20年度利用者:8,318人

清田区地域職業相談室
(ジョブガイド清田)
【清田区役所内】
月～金 8:45～17:00

- 平成17年8月開設
- HW職業相談員3人配置
- 求人検索機5台設置
- 社会保険労務士による相談
- 平成20年度利用者:18,595人

厚別区高齢者職業相談室
【厚別区役所内】
月～金 8:45～12:00
13:00～17:00

- 平成2年4月開設
- HW職業相談員3人配置
- 平成20年度利用者:7,256人



緊急一時宿泊(シェルター)事業における ビジネスホテルの借り上げについて

【主旨】

札幌市では、これまでホームレスが緊急的に宿泊する必要がある場合、救護施設を活用した緊急入所事業等で対応してきた(市内4ヶ所・最大14名入所)が、厳冬期を迎えるにあたり、緊急入所事業等を補完するため、中央区内にあるビジネスホテルを継続的に借上げ、ホームレス等の緊急一時宿泊施設として活用することとした。(12月1日から事業開始)

【対象者】

ホームレスの方又は現に失業状態又は日雇い労働などの不安定な就労関係にあり、かつ、定まった住居を喪失し簡易宿泊所等に寝泊りするなどの不安定な居住関係にある等のため、ホームレスとなることを余儀なくされるおそれのある方(以下「ホームレス等」という。)で、生活保護の申請をされる方

【実施方法】

ホームレス等が、各区保護課で生活保護を申請し、緊急避難的に宿泊を要するにもかかわらず、救護施設へ入所できない場合に、ビジネスホテルへ宿泊させ食事を提供する事業。(当面5部屋)

なお、5部屋で不足する場合は、追加で借上げをする予定

【12/14現在の利用状況】

- ・ 救護施設緊急入所等の状況：12人入所(14人のうち2名退所)
- ・ 緊急一時宿泊事業(ビジネスホテル借上げ)：6人入所(うち1人は、12/14に救護施設入所予定)
- ・ ビジネスホテルは、入所余力が十分にあるので、相当程度追加借上可能

離職退去者に対する市営住宅の提供について

昨年12月29日から、解雇等により住居の退去を余儀なくされた方の居住の場を確保するため、緊急的に市営住宅を提供しており、現在35戸が入居している。

現下の厳しい経済雇用情勢と10月23日に定められた「緊急雇用対策」を踏まえ、札幌市においても、引き続き離職退去者の居住の安定確保を図る必要があることから、本事業を継続することとする。

また、現在入居している方については、就職活動を行っていること又は住宅を探していることを条件に、1年経過後、最長6ヵ月まで延長を認めることとする。

1 対象者（これまでと同様）

以下のいずれの条件をも満たす方

派遣社員・期間従業員など非正規雇用者であったこと（建設・土木などの季節雇用者は除く）

解雇に伴い社員寮・社宅などの住居から退去を余儀なくされ、現に住宅に困窮していること

2 提供する住宅

80戸（現在入居中の35戸を含む）

市営住宅建替事業により一般募集を停止している下野幌G・H・I団地のH・I団地から100戸程度を用意し、1年間を限度とし、行政財産の目的外使用により即時に入居できるように対応しているところであるが、建替事業の進捗に伴い、H・I団地で提供できる戸数は、現在入居している35戸程度となるため、新たに下野幌G団地の45戸程度を提供することとする。

【提供住宅の概要】

厚別区下野幌G団地（地下鉄 新さっぽろ駅 徒歩5分程度）

5階建エレベーターなし、2DK、暖房設備なし、浴室なし

使用料 月額 3,500円程度

その他 共益費・暖房費・電気・ガス・水道料金等は実費

3 提供期間 原則1年間以内

4 現在までの提供状況（平成21年11月末現在）

相談件数 135件

入居件数 47件

退去件数 12件

現在の入居件数 35件

21年度 緊急雇用創出推進事業

当初・追加	事業数	補正予算額 (千円)	雇用創出数 (人)	主な事業内容
当 初	36事業	550,748	716	妊婦検診公費負担拡 充・未受診妊婦の防止へ の業務 さっぽろごみパト隊補 助 等
追 加	28事業	659,709	809	STOP新型インフルエ ンザ 保育の質向上事業 等
再追加	14事業	73,954	116	児童養護施設等職員の 資質の向上をサポート等
合 計	78事業	1,284,411	1,641	

21年度 ふるさと雇用再生特別基金事業

当初・追加	事業数	補正予算額 (千円)	雇用創出数 (人)	主な事業内容
当 初	9事業	137,000	41	さっぽろ介護力アップ おうえん事業 市内IT企業ネット ワーク形成事業
追 加	9事業	111,754	28	元気ジョブアウトソー シングセンター運営事業 環境産業創出事業
合 計	18事業	248,754	69	

平成21年度合計

事業数	補正予算額(単位:千円)	雇用創出数(人)
96事業	1,533,165	1,710

平成21年度緊急雇用創出推進事業募集一覧

局	業務名	積算額(千円)	雇用実人員	業務形態
市まち	1 区戸籍住民課サービス向上事業	2,494	5	直接
		2,494	5	
子未来	2 児童養護施設等職員の資質の向上をサポートする事業	14,623	18	委託
		14,623	18	
財政	3 市税当初課税事務における支援強化事業	7,480	15	直接
	4 市税収納率向上のための調査・訪問催告に係る支援事業	1,611	3	直接
		9,091	18	
環境	5 家庭ごみ排出指導業務補助	35,500	50	直接
	6 土壌汚染対策業務に係る補助	499	1	直接
	7 清掃工場プラント設備等の図面のCAD化	499	1	直接
		36,498	52	
経済	8 緊急雇用対策実施に係る事務補助業務	499	1	直接
		499	1	
観光文化	9 さっぽろ雪まつり大通会場管理業務	5,670	12	直接
		5,670	12	
北区	10 管理施設資料作成・区保有文書整理支援事業	549	1	直接
		549	1	
豊平区	11 豊平区役所耐震改修工事に係る環境整備事業	1,038	2	直接
		1,038	2	
教育	12 学校における新型インフルエンザ情報管理事業	499	1	直接
	13 特別支援教育に係る各種調査整理補助業務	499	1	直接
	14 図書館資料予約回送補助業務	2,494	5	直接
		3,492	7	
計	総事業費		総雇用人員	
	73,954千円(14事業)		116	

地域経済と地元企業を支える緊急経済対策

地元企業を支え、倒産を防ぐ取組

企業の資金需要に対する対応

景気対策緊急支援資金の取扱期間の延長

市内中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しいことから、引き続き市内中小企業が低利で安定した資金調達ができるよう、平成 22 年度についても取扱期間を延長。

緊急保証制度の拡充への円滑な対応

国の緊急保証制度の対象業種が 12 月 4 日に 781 業種から 793 業種へ拡大、さらに平成 22 年 4 月 1 日からは 908 業種に拡大される予定であり、対象業種の拡大に伴う、認定申請の増加に対し円滑に対応できるよう受付体制を強化。

企業の経営相談・支援体制の充実

特別金融相談窓口の開設

年末の資金需要期に向け、相談体制を強化するため、平成 21 年 12 月 5 日から 12 月 27 日までの土日及び祝日、12 月 29 日及び 12 月 30 日に特別金融相談窓口を開設する。

また、年度末の資金需要期である来年 3 月についても関係機関と連携し、同様の体制を敷く予定。

地域経済を支え、活性化する取組

「商店街クーポン券付 P R 誌作成事業」

概要： 個人消費の低迷で販売不振が著しい商店街を支援するため、年末商戦に向けた売上向上に取り組む商店街を対象として、商店街とその加盟店舗を P R するクーポン券付広報誌の作成・配布経費を補助。

目的： 商店街での販売拡大を図るとともに、商店街組織未加入店舗の加入を促す。

進捗状況：市内 103 の商店街と 13 の小売市場に対して広く告知し、9 月 4 日に制度説明会を実施、9 月 25 日まで申請を受付。12 月 15 日までに市内 48 商店街で共同制作も含め 30 種類の P R 誌が作成され、現在消費者に配布中。

補助内容：

- ・ P R 誌作成にかかる、印刷製本費、委託費、通信運搬費等を補助
- ・ 補助率 100/100、上限 80 万円
- ・ 複数の商店街での共同制作も可
- ・ P R 誌には一定の条件を設定（商店街マップと商店街の紹介ページを掲載、一定の割合以上の個別店舗のクーポン券を付けるなど）

予算：3,000 万円（地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業）

発行総数：約 30 万部（最小 1,000 部～最大 45,000 部）

配布開始日：11 月 24 日～12 月 15 日

配布方法：ポスティング、店頭配布、新聞折込、公共公益施設に配置など。